

令和2年9月定例会

コロナ感染症の議会対応として、今回は保守系の議員代表として一般質問をさせていただきました。

今議会ではコロナ感染症の対応として本会議の全体時間に配慮し、質問を自粛しました。

総務産業常任委員会 委員長の所管事務調査報告と意見書の提案について報告をします。

総務産業常任委員会 所管事務調査報告

能美市議会では常任委員会ごとに所管事項からテーマを定め、調査を行い執行部に施策の提言を行っています。

総務産業常任委員会では令和元年11月から災害対策・火災への消防体制について調査研究を行いました。

●災害対策・消防体制・危機管理体制について

- ①大規模な火災に対する消防体制と、対応策
- ②水害などの災害に対して防災・減災対策・危機管理体制
- ③災害時の議会対応と、求められる役割
- ④避難所の設営・運営の課題と求められる避難所のあり方

- 糸魚川市：大規模火災時の対応と、火災後の対策と復興まちづくり計画について
 - 龍ヶ崎市：防災・減災日本一の取組と豪雨を想定した強いまちづくりについて
 - 常総市：鬼怒川の氾濫から学んだ防災・減災・危機管理と議会の対応について
- 被災した自治体の災害対応と、被災から浮かび上がった課題の調査を行った



消防体制について

市では広域連携や建設事業者との連携も作られており大規模火災への対応も取られている。また本年度に新たにはしご付消防ポンプ自動車の導入に加え、機材の更新も順次進められている。今後も消防機材の継続的な更新を進めると共に、消防職員が安全・安心に働くことのできる環境整備を求める。また、火災予防には市民への啓発活動の効果が大きいと考えられる。今後も消防からの情報発信を継続して求める。加えて、火災や災害時に消防士と共に活動が不可欠である消防団員のなり手不足が続いており、**団員加入に企業や町会の協力が得られやすくなるような施策を求める。**

防災・減災対策について

何よりも市民の防災意識の向上が必要で、本年2月に作成された**防災ガイドブック**を有効に使いながら市民への防災周知活動を行うことが望まれる。周知にあたっては行政だけの発信ではなく、**自主防災組織や防災士会など市民団体と共に行うことが、市民の防災意識向上につながる。市民防災団体とのさらなる連携強化が求められる。**防災周知活動には、防災センターの積極的な活用を求める。危機管理体制については、雪害や豪雨時等に緊急体制が取られており、実践的な組織運営が行われている。今後も先進的な事例を取り入れ対応にあたってほしい。



議会対応について

災害時の議員のマニュアルや、復旧復興時の議会の役割の手順の整備も不可欠と考える。議会として対応を進めていきたい。

避難所の設営・運営について

今後も新型コロナウイルス感染症を念頭に置きながらの対応が求められる。市民への早期自主避難を働きかけると共に、指定避難所だけではなく親戚・知人宅等への**分散避難の周知を上げ、市民一人ひとりが避難のシミュレーションを行うことが必要**と考えられる。行政は指定避難所に加え、**市施設の利用や民間等の協力を求め、収容人数の確保に努めるとともに**、避難者が抱える多様な課題を少しでも解消できるよう、幅広い視野で避難の受け入れスタイルを検討する必要があると考える。**避難所運営については住民が主体で行う事が原則**だが、市としても感染拡大の予防策に努め、避難者、運営者、市職員への感染リスクを抑える事が求められる。

最後に市民の安全・安心を守るために防災対策は、常に欠かせないものである。とりわけ災害弱者と言われる**高齢者・障がい者・子ども等の避難行動要支援者への対策と配慮が求められる。**

行政だけではなく、**今後も市民・企業の連携のもと防災対策に取り組んで頂く事を提言する。**

●「教職員定数改善と教育予算拡充を求める意見書」を提言し可決されました！

議会は市の公益に関する事件について意見書を国会または関係行政庁に提出することができます。能美市では会派代表者会議を通じて全議員に周知され、意見を聴取し会派代表者会議にて議員提出議案とすべきかを諮られます。本会議において議決されれば議会の意思として確定し、議長の名において国会または関係行政庁に提出されます。



会派「絆」(田中 策次郎)が「教職員定数改善と教育予算拡充を求める意見書」を提言

議員提出議案として本会議で諮られ**全会一致で可決**されました

意見書の概要

文部科学省は平成28年の勤務実態調査の結果、多数の教職員の時間外労働が過労死ライン相当にまでなっている状況を踏まえ、学校における働き方改革の取組を進め、1か月の在校時間について超過勤務45時間。年間では360時間を上限とするガイドラインを示し、正確な時間把握と超過勤務の縮減を求めている。石川県においても平成30年3月に「教職員の多忙化改善に向けた取組方針」を定め、各学校における業務改善の取組を進めているところであり、その成果に期待を寄せている。

一方、新しい学習指導要領が令和2年度より小学校から順次実施され、小学校中学年から外国語教育を導入することや小学校におけるプログラミング教育を必修化するなど社会の変化を見据えた新たな学びへの進化を求めるものとなっている。教育における新しい取組を進めながら、学校現場における複雑化・多様化する課題に対応し**子供たち一人ひとりに寄り添ったきめ細かい教育を実践するためには、教職員定数の計画的改善による教職員の多忙化の抜本的解消が不可欠である。**山積する教育問題の解決を図り、少人数学級など教育環境を充実させ、学びの質を高めるために、教職員定数の計画的改善とともに、教育予算の拡充が求められている。国におかれては、**子供の豊かな学びを保障するために教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を行うよう強く要望する。**



9/20(日) 三道山神社の秋祭り神事にて還暦のお祝いと厄払いをしていただきました



12月議会一般質問は12月2日(水)と3日(木)です

場所 能美市本庁舎 三階議場 事前申込みは要りません。(コロナ感染症の対応にご配慮願います)
ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆
連絡先記載の無いご意見は返信が出来ませんので、ご返答希望の方は連絡先をお忘れのないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町 16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail kizuna@3926jp.net http://3926jp.net

